



企業の皆様と 共に取り組む プロジェクト

2025

【令和7年9月追加分】

- 企業版ふるさと納税
- 協働
- 遊休施設の利活用



CONTENTS

1 企業版ふるさと納税の活用事例

1 交流人口・関係人口

後志	1	ニセコ町	ひと・まち・未来をむすぶ魅力的な観光地へ
渡島	2	福島町	まちを訪れる人を増やし、交流や移住を促進する事業
上川	2	剣淵町	「絵本の里」を次代につなげる人づくり
オホ	3	小清水町	小清水町デジタル田園都市構想推進事業

4 まちづくり

空知	4	夕張市	持続可能なまちづくり
	4	浦臼町	志と覚悟をもって未来を拓くまちづくり事業
後志	5	ニセコ町	町民や観光客から信頼される国際リゾート
	5	ニセコ町	新寮から広がる学びと未来
	6	古平町	古平町デジタル田園都市構想推進事業
胆振	6	豊浦町	人とつながり 自然と笑顔あふれるまちへ
渡島	7	鹿部町	いつまでも住み続けられるまちづくり
上川	7	東神楽町	東神楽町まち・ひと・しごと創生推進計画事業
留萌	8	留萌市	本格的なアウトドア観光へ！
	8	苫前町	いつまでも暮らしていけるまちづくり
宗谷	9	稚内市	海と大地と風の恵み 人が輝き挑戦し続けるまち稚内
オホ	9	紋別市	流氷と大地の恵みを活かし人が輝き躍動するまち
	10	置戸町	笑顔と夢を未来につなぐまち おけと
	10	滝上町	役場庁内DXを推進し、デジタル田園国家都市構想に即したまちづくり

11 自然・環境

後志	11	ニセコ町	林業、木材産業の再価値化を目指して
	11	ニセコ町	暮らし・地域・未来を守る気候変動対策事業

12 くらし・子育て・健康

後志	12	神恵内村	神恵内村デジタル田園都市国家構想推進事業
渡島	12	鹿部町	未来きらきらプラン～子育て負担0（ゼロ）への挑戦～
宗谷	13	浜頓別町	安心して子育てできる環境と、学力・郷土愛の向上を目指します
オホ	13	滝上町	子育て世代へ経済的な支援を行い、子育てしやすいまちづくり
	14	興部町	子育て世代の抱える負担の軽減に総合的に取り組む事業

15 産業

後志	15	泊村	水産業を活かし、安心して働ける場をつくる事業
渡島	15	鹿部町	サステナ・ブルー・プロジェクト
オホ	16	津別町	森林の循環利用を進めるため、木質バイオマスエネルギーを活用
	16	滝上町	森林整備を推進し環境保全とSDGsに向けたまちづくり
	17	滝上町	担い手不足に悩む農業の基盤を強化 稼ぐまちづくりを推進
釧路	17	白糠町	稼ぐ地域をつくるとともに、安定した雇用を創出する

18 人材育成・教育

空知	18	夕張市	Challenge More Spirit 夕張高生は挑戦し続けます
上川	18	南富良野町	唯一無二の高校づくりで、唯一無二の人材へ！
オホ	19	遠軽町	遠軽高等学校の教育水準を維持するために

十勝	20	音更町	旧南中音更小学校
	21	音更町	旧豊田小学校

持続可能な開発目標（SDGs（Sustainable Development Goals））とは

- ・ 2015年9月、国連において採択された国際社会共通の目標であり、先進国、開発途上国を問わず、その達成に向けた取組が広がっています。
- ・ 北海道においても、これから先の50年、100年後に向け、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、先人から受け継いだ多種多様な地域資源を活かしながら、SDGsの達成に向けた取組を積極的に推進していくことが重要です。
- ・ このため、道内の個人や企業・団体、NPO、行政機関など各層にSDGsが浸透し、幅広い分野や地域で具体的な取組が展開されるよう、多様な主体が連携・協働する全道的なネットワークとして、「北海道SDGs推進ネットワーク」を設立するなど、SDGs推進に貢献する取組を進めています。



企業版ふるさと納税の活用事例

道内市町村において、企業の皆様から応援いただきたい特色のあるプロジェクトをご紹介します。

分野毎のプロジェクト内容はもちろん、関連するSDGsの目標や市町村担当者へのお問い合わせ先も掲載しています。

掲載プロジェクト【令和7年9月追加分】

交流人口・関係人口	4 プロジェクト	くらし・子育て・健康	5 プロジェクト
まちづくり	14 プロジェクト	産業	6 プロジェクト
自然・環境	2 プロジェクト	ICT・AI	0 プロジェクト
文化・スポーツ・歴史	0 プロジェクト	人材育成・教育	3 プロジェクト

ニセコ町

人口 5,054人 (2025.6)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュープラザ

ひと・まち・未来をむすぶ 魅力的な観光地へ



ニセコハロウィン



電動トゥクトゥク

訪れる人から、関わる人へ

ニセコ町の観光の中で、歴史の長い取り組みである「ニセコハロウィン」の充実や「ニセコルール」の周知・広報を行い、ニセコの観光を多くの方へ知っていただくことを目指します。

また、夏の観光コンテンツとして電動トゥクトゥクやレンタサイクル、シェアカーの取組みを行うなど、環境にも配慮した観光資源・地域資源を充実させることにより、関係人口・交流人口の創出や地域活性化を図ります。

プロジェクト

観光振興事業

観光DX・シェアリングサービス推進/
観光イベントへの支援/プロモーション
など

事業年度・事業費

令和6年度～



ニセコルール



■お問合せ先
ニセコ町商工観光課
☎ 0136-56-8843
✉ kankou@town.niseko.lg.jp

福島町

人口 3,336人 (2025.6)
主な観光ポイント
横網記念館、青函トンネル記念館、岩部クルーズ

まちを訪れる人を増やし、 交流や移住を促進する事業



岩部クルーズ



青の洞窟

手つかずの自然や観光資源を核として、交流人口の拡大を目指す

岩部地区の「山」「川」「海」といった手つかずの自然やリニューアルした道の駅等、既存の地域資源や観光資源を核としながら、本町を訪れる人を増やし、地域経済を活性化させるとともに、交流人口を拡大させます。また、移住に必要な住宅環境や情報提供等を充実させ、移住を促進します。町外に居住している方で、「本町を応援している方」、「本町に興味を持っている方」、「本町に魅力を感じている方」等、本町と多様に関わる「関係人口」を増やし、交流の入り口を拡大します。

プロジェクト

福島町まち・ひと・しごと創生推進事業

岩部海岸わくわくクルーズ事業、アニメツーリズム推進事業

事業年度・事業費

令和7年度～9年度

119,300千円



横網千代の山・千代の富士記念館



■お問合せ先
福島町企画課
☎ 0139-47-3007
📧 kikaku@town.fukushima.hokkaido.jp

剣淵町

人口 2,724人 (2025.6)
主な観光ポイント
絵本の館、アルパカ牧場、道の駅

「絵本の里」を次代につなげる人づくり



絵本の館内観



絵本の館外観

地域の魅力と発信力を高め、町を訪れる人を増やします

剣淵町が35年間続けてきた絵本の里づくりを次代につなげるための事業を展開します。絵本の館にある作家さんからお預かりした大切な原画をより良い環境で維持保管すること、より多くの方々にご鑑賞いただける環境を整え、地域の魅力を高めます。この魅力を町を訪れる人に伝え、次代に人をつなげます。

プロジェクト

「絵本の里」を次代につなげる人づくり事業

「絵本の里けんぶち」をさらにひろげ、観光・交流や移住を促進する事業

事業年度・事業費

令和7年度

5,000千円



ゆるキャラ ぶっちーな



■お問合せ先
剣淵町総務課企画財務広報グループ
☎ 0165-26-9021
📧 kikaku@town.kembuchi.lg.jp

小清水町

人口 4,301人 (2025.6)
主な観光ポイント
小清水原生花園、濤沸湖、藻琴山

小清水町デジタル田園都市構想推進事業



移住体験住宅 外観



移住体験住宅 内観

交流人口拡大 & 移住定住を後押し

小清水町への移住定住を検討している方に向けた「移住体験住宅」を提供しています。電化製品や家具、消耗品などを全て完備した世帯向けの3LDKを用意し、リアルな“小清水暮らし”を疑似体験することによって、小清水町の魅力を知り、移住後の生活をイメージすることができます。さらに「小清水町住宅取得費助成事業」では、新築及び中古住宅の取得費用の一部を助成しています。また、「こしみずゼロカーボンシティ戦略」と調和を図り、再生可能エネルギーの普及促進&温暖化対策として、住宅用太陽光発電システム等を設置する住宅に対しても一部費用の補助を実施し、移住定住を後押ししています。

プロジェクト

地方に仕事をつくる事業
人の流れをつくる事業
結婚出産子育ての希望をかなえる事業

事業年度・事業費

令和7年度
50,000千円



小清水町の風景



■お問合せ先
小清水町企画財政課企画係
☎ 0152-62-4471
📧 kikakumgr@town.koshimizu.hokkaido.jp

夕張市

人口 6,001人 (2025.6)
主な観光ポイント
夕張市石炭博物館、幸福の黄色いハンカチ
想い出ひろば

持続可能なまちづくり



市内路線バス



市内線デマンド交通

市民の貴重な移動手段である公共交通の維持確保を行っています

平成31年4月1日にJR夕張支線廃線後、市民の通院・通勤・登下校などの移動を確保するため、市内路線バスを1日10往復運航しています。路線バスが運行していない一部地区については、デマンド交通やタクシー乗車代金補助制度を実施し、公共交通を確保しています。

また、令和6年度までに全ての市外行路線バスが廃線したことに伴い、市外への通院や買い物、夕張市に観光や帰省される方の移動手段を確保するため、市外線デマンド交通（夕張市～栗山町～長沼町～北広島市）を実施しています。

事業年度・事業費

令和7年度

100,279千円



市外線デマンド交通



■お問合せ先
夕張市地域振興課
☎ 0123-52-3141
✉ ybrkai@city.yubari.lg.jp

浦臼町

人口 1,558人 (2025.6)
主な観光ポイント
鶴沼公園、樺戸連山

志と覚悟をもって未来を拓くまちづくり事業



鶴沼公園



幻のメロン「キングメルティー」は
当町一押しの特産品の一つ

町の特徴を生かした持続可能な町づくり

浦臼町は、札幌市と旭川市の間地点に位置する人口およそ1,600人の町です。将来にわたり活力のある町となるために、町の特産品であるメロンやにんにくなどの農産物のブランド化、道の駅「つるぬま」の再整備、小規模自治体だから可能な子育て支援策や移住支援策の充実など、様々なことに取り組んでいます。

プロジェクト

志と覚悟をもって未来を拓くまちづくり事業

地域資源を生かした雇用確保・産業育成
／関係人口・交流人口創出事業／高齢者
や移住者が住みやすい地域づくり等

事業年度・事業費

令和7年度



田園風景の中にある「三日月湖」



■お問合せ先
浦臼町総務課企画係
☎ 0125-68-2111
✉ kikakutokei@town.urausu.lg.jp

ニセコ町

人口 5,054人 (2025.6)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュープラザ

町民や観光客から信頼される 国際リゾート



サイクリング



グリーン・デスティネーションズ
2023シルバーアワード
世界の持続可能な観光地TOP100選
2年連続受賞



人にも自然にも優しい観光地づくり

ニセコ町は、国際観光リゾート地として、また環境モデル都市・SDGs未来都市として、観光分野においても、GSTC (Global Sustainable Tourism Council) が定める世界基準に準拠した持続可能な取り組みを進めています。UNtourismによるベスト・ツーリズム・ビレッジにも選定され、海外・国内の観光客だけでなく、町民からも愛され、信頼される観光地域づくりを目指します。

プロジェクト

持続可能な観光地域づくり (GSTC)推進事業

サスティナビリティコーディネーター配置・支援/地域事業者の国際認証支援/
GSTCコンテンツ造成

事業年度・事業費

令和3年度～

—



国連世界観光機関 (UNtourism)
ベスト・ツーリズム・ビレッジ選定



■お問合せ先
ニセコ町商工観光課
☎ 0136-56-8843
📧 kankou@town.niseko.lg.jp

ニセコ町

人口 5,054人 (2025.6)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュープラザ

新寮から広がる学びと未来



食堂イメージ図



寮室イメージ図

高校と地域をつなぐ新たな拠点

ニセコ高校は、全国から生徒を募集する「地域みらい留学」を実施しており、域外の生徒が急増しています。ニセコ高校の最高目標である「シビックプライドを持ったグローバル人材の育成」を推進し、新寮をフィールドに地域住民や企業との連携や、デジタル技術を駆使した起業家教育を産官学と協働しながら取り組んでまいります。シナジー効果を生み出すミックスコミュニティ拠点を整備し、地域全体で若者を応援・育成していくことで、域内の就業機会の創出や世代交代の促進を図り、人口流出の抑制や地域の持続的な魅力化発展につなげていきます。

プロジェクト

ニセコ高校新寮整備事業

寄宿舎整備 (ユニット部屋、個室、食堂、
談話室、自習室、中庭など)

事業年度・事業費

令和7年度～

—



ニセコ高校新寮鳥瞰図



■お問合せ先
ニセコ町教育委員会総合教育課高校教育係
☎ 0136-44-2224
📧 koukou@niseko.lg.jp

古平町

人口 2,543人 (2025.6)
主な観光ポイント
道の駅ふるびらたらこミュージアム、ふる
びら温泉しおかぜ など

古平町デジタル田園都市構想推進事業



道の駅ふるびらたらこミュージアム



特産品「たらこ」

デジ田総合戦略「4つの基本目標」

- ①「人口減少下においても安心して暮らせるまちの実現」
- ②「古平町の産業振興を図り、所得の安定をめざす」
- ③「出産・子育て環境の整備と医療・福祉の充実」
- ④「古平町への新しい人の流れをつくる」

古平町では、人口減少下でも安心して暮らせるまちを目指し、産業振興、子育て・福祉の充実、移住促進、まちの機能再編する施策を展開しています。
デジタル技術と地域資源を活用し、持続可能な地域社会の実現と次世代への継承を図ります。

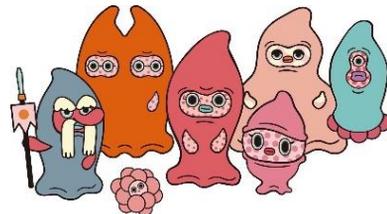
プロジェクト

古平町デジタル田園都市構想推進事業

漁業・農業等の経営・生産基盤の強化／
妊娠・出産への支援 など

事業年度・事業費

令和7年度～10年度



道の駅オリジナルキャラクター



■お問合せ先
古平町総合政策課企画調整係
☎ 0135-48-9836
✉ kikaku.sct@town.furubira.lg.jp

豊浦町

人口 3,450人 (2025.6)
主な観光ポイント
天然豊浦温泉しおかぜ、豊浦海浜公園、小幌駅

人とつながり 自然と笑顔あふれるまちへ



天然豊浦温泉 しおかぜ



小幌駅

どこかなつかしい賑わいのあるまちを目指す 取り組み

豊浦町では、「皆で”共に創り出す”」「困難に”立ち向かう”」「魅力を”集中的に伸ばす”」の3つの姿勢で次の取組を進めています。

- 地域に根差した産業が持続的に発展するまちをつくる事業
- とよらの魅力を高め、まちへの新たな人の流れをつくる事業
- 出産・子育てがしやすく、特色のある教育が受けられるまちをつくる事業
- 地域で安心して暮らし続けられるまちをつくる事業

プロジェクト

豊浦町まち・ひと・しごと創生推進事業

住環境の充実/新商品や加工品の開発・
研究の促進/地域防災力の向上/道路・公
共交通の充実 など

事業年度・事業費

令和5年度～9年度

700,000千円



豊浦海浜公園



■お問合せ先
豊浦町企画財政課企画係
☎ 0142-83-1422
✉ kikaku@town.hokkaido-toyoura.lg.jp

鹿部町

人口 3,479人 (2025.6)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉、鹿部公園

いつまでも住み続けられるまちづくり



鹿部町役場周辺の様子



地域活動支援センターの様子

住民の安全・安心・健康を「守る力」を高める

日常での生活の場や移動手段、健康管理など、高齢に伴い不安が高まる分野において将来を見据えた取り組みを進めています。

また、年齢を問わず、すべての住民がいつまでも安心して住み続けられる・生活し続けられるよう自然災害から生命や財産を守る持続的な取り組みを進めています。

プロジェクト

暮らしへの不安を解消する事業

道路ネットワークの整備／地域活動支援センター活動の支援／地域公共交通体制の整備・運行事業 など

事業年度・事業費

令和7年度

6,000千円



しかバス



■お問合せ先

鹿部町企画振興課

☎ 01372-7-5297

↓ kikaku@town.shikabe.hokkaido.jp

東神楽町

人口 9,703人 (2025.6)
主な観光ポイント
ひがしかぐら森林公園など

東神楽町まち・ひと・しごと 創生推進計画事業



ひがしかぐら森林公園



放課後クラブ「わくわく」

花と大地と笑顔の東神楽 ～次世代に受け継ぐ幸せな暮らし～

「花のまち」の取り組みに加え、健康的に歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり、環境への配慮、デジタル化を進めることにより、持続可能で安全・安心な住みやすい住環境づくりを推進します。このほか、「君の椅子プロジェクト」などの広域的な取り組みを継続することにより地域間の連携を図ります。

プロジェクト

安心な暮らしを守るとともに、地域間連携を図る事業

健康食育タウン・ゼロカーボン推進事業・育苗センター維持管理事業等

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

587,000千円



はなのわガーデン



■お問合せ先

東神楽町まちづくり推進課

☎ 0166-83-2113

↓ kikaku@town.higashikagura.lg.jp

留萌市

人口 17,840人 (2025.6)

主な観光ポイント

黄金岬海浜公園、千望台

本格的なアウトドア観光へ！



道の駅るもい



SUP

アウトドア観光を軸に「稼ぐ観光」へ！

留萌地域の持つ特質性、ポテンシャルを最大限発揮させるためには、これまでの海水浴場中心の体験型観光から、本格的なアウトドア観光を軸とした観光事業の転換を図り、恵まれた環境を生かした「稼ぐ観光」にシフトすることが重要となっています。「道の駅るもい」をアウトドア観光の核とした「稼ぐ観光」へのシフト、インバウンド需要の取り組み、関係・交流人口の増加、若者に魅力ある雇用づくりなど、新たな観光ビジネスの創出と市民に幅広く還元できるまちづくりを目指します。

プロジェクト

アウトドア観光拠点形成推進事業

海水浴場中心の観光から、本格的なアウトドア観光を軸とした観光事業への転換

事業年度・事業費

令和7年度

9,015千円



黄金岬から見た夕陽



■お問合せ先
留萌市地域振興部ふるさと納税課
☎ 0164-56-5001
✉ furusato@e-rumoi.jp

苫前町

人口 2,643人 (2025.6)

主な観光ポイント

三毛別震事件復元地、風力発電所

いつまでも暮らしていけるまちづくり



町営風力発電とホワイトビーチ



高校生による「TomaCafé」

まちの特色・強みを活かした総合的な施策

苫前町は、町営の風力発電から産み出すクリーンなエネルギーをもとに、様々な施策に取り組んでおります。風力発電からつくられる電気を町内の学校や道の駅などに使用しており、また売電により得られる収入を、町民がより住みやすくなるための各種事業に使用しております。この他にも、町内高校の生徒自らが考え実践する取組の支援、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備とサポートの実現、農業や漁業をはじめとする地場製品のブランドの構築・6次産業化の支援など、町民がいつまでも暮らしていけるようまちづくりを推進します。

プロジェクト

苫前町まち・ひと・しごと創生推進事業

再生可能エネルギー自給体制の構築/苫前ブランド・6次産業化チャレンジ支援事業/苫前商業高等学校魅力化事業 など

事業年度・事業費

～令和7年度

—



三毛別震事件復元地



■お問合せ先
苫前町総合政策室総合政策係
☎ 0164-64-2040
✉ sogo@town.tomamae.lg.jp



稚内市

人口 29,852人 (2025.6)
主な観光ポイント
宗谷岬周辺 (宗谷丘陵、白い道)、稚内港
北防波堤ドーム

海と大地と風の恵み 人が輝き挑戦し続けるまち稚内



ここが“日本のてっぺん”



「白い道」からの絶景

「日本のてっぺん」から全国へ

海と大地と風の恵みを受ける生産空間と地理的特性を活かした産業振興を図るとともに、住民の定住環境を整えることで、国にも貢献できる地域づくりを進めています。

- 地域特性や資源を活かした産業振興を図り、魅力ある仕事をつくる事業
- 本市の魅力や特色を広く発信し、新しいひとと資金の流れをつくる事業
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次代を担う人材を育てる事業
- 誰もが安心して生活を送り、各々が役割を持って活躍できる地域社会をつくる事業

プロジェクト

稚内市デジタル田園都市構想推進事業

産業振興と人材確保／再エネの地産地消
／関係人口拡大・人の流れの創出／若い世代への支援／地域医療の充実 など

事業年度・事業費

令和7年度～10年度



稚内港「北防波堤ドーム」



■お問合せ先
稚内市企画総務部企画政策課
☎ 0162-23-6215
✉ kikaku@city.wakkanai.lg.jp

紋別市

人口 19,755人 (2025.6)
主な観光ポイント
ガリンコ号、オホーツクタワー、カニの爪オブジェ

流水と大地の恵みを活かし 人が輝き躍動するまち



ガリンコ号



オホーツクタワー

紋別市は、以下の5つの基本目標を掲げ、まち・ひと・しごとに好循環が生まれ、活気あふれ選ばれるまちづくりを目指していきます。

<基本目標>

- ①力強い産業を確立し、企業と働く人がともに輝けるまちをつくる
- ②もんぺつの恵まれた豊かな資源を活かし、稼ぐ力を高め、人が集まるまちをつくる
- ③若い世代の結婚・出産の希望を叶え、健やかな子どもの育ちを支えるまちをつくる
- ④健康でいきいきと活躍できる共生社会を確立し、安心して住み続けられるまちをつくる
- ⑤地域を支える人を育み、住民参画による協働のまちをつくる

プロジェクト

第2期紋別市まち・ひと・しごと創生推進事業

産業の振興／交流人口の拡大／結婚・出産・子育て支援の充実／住みよい環境づくり など

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

500,000千円



カニの爪オブジェ



■お問合せ先
紋別市総務部企画調整課
☎ 0158-24-2111
✉ kikaku@city.mombetsu.lg.jp

置戸町

人口 2,496人 (2025.6)
主な観光ポイント
おけと湖、勝山温泉ゆうゆ、置戸町立図書館

笑顔と夢を未来につなぐまち おけと



おけと湖



勝山温泉ゆうゆ

未来に向けた持続可能なまちづくりに取り組んでいます

置戸（おけと）町では、①地域社会において魅力的で多様な就業機会の創出、②地域社会を担い、個性にあふれた人材の確保、③活力ある安心して健康に暮らせる地域社会の形成、これらの視点を基にまちづくりを推進し、次の取組を進めています。

- 地域経済を活性化し、雇用を創出する事業
- 人口流出を抑制し、流入を促進する事業
- 子どもを産み育てる環境を整える事業
- ふるさとづくりを推進する事業

プロジェクト

置戸町まち・ひと・しごと創生推進事業

雇用の創出／産業の振興／観光の推進／移住定住の促進／子育て環境の充実 など

事業年度・事業費

令和7年度

415,600千円



置戸町立図書館



■お問合せ先

置戸町企画財政課企画係

☎ 0157-52-3312

↓ shinko@town.oketo.hokkaido.jp

滝上町

人口 2,175人 (2025.6)
主な観光ポイント
芝ざくら滝上公園、錦仙峡遊歩道

役場庁内DXを推進し、デジタル田園国家都市構想に即したまちづくり



公共施設電子申請システム



SNS活用アドバイザー

行政業務へのデジタル技術導入・活用 事務処理の自動化・省力化へ

近年、人口減少や過疎化により地域の担い手が不足し、様々な分野で影響が出始めています。そうしたなかでも地域住民がいきいきと暮らせるよう、行政業務におけるデジタル化を推進します。行政業務へのデジタル技術の導入により地方においても住民が便利で豊かな生活を送ることができる地域づくりを目指します。

プロジェクト

役場庁内DXの推進事業

役場庁内DXを推進し、デジタル田園国家都市構想に即したまちづくりを推進

事業年度・事業費

令和7年度

2,500千円



ドローン活用による河川管理



■お問合せ先

滝上町まちづくり推進課まちづくり推進係

☎ 0158-29-2111（内線220）

↓ machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp

ニセコ町

人口 5,054人 (2025.6)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュー
ラザ

林業、木材産業の再価値化を目指して



トドマツ



簡易製材機

森林を守り、活用する地域へ

暮らしの変化や脱炭素社会などの森林・木材に対する関心の高まりに合わせて、森林空間の価値向上・体験創出などの森林を身近に感じてもらえる取組みを促進していきます。

また、未整備森林を多く抱える森林管理、ニセコ町産木材の供給や地域利用の推進を行いつつ、町産材製品の開発・拡販、体験プログラムを通じた関係人口の創出、人材育成を進めていきます。

プロジェクト

地域林業循環事業

小さな森林整備の推進／ニセコ町産材の地域利用促進／林業・木材加工従事者の人材確保・育成 など

事業年度・事業費

令和元年度～



サイクルスタンド



■お問合せ先
ニセコ町農政課
☎ 0136-56-8841
📧 nousei@town.niseko.lg.jp

ニセコ町

人口 5,054人 (2025.6)
主な観光ポイント
ニセコ温泉郷、羊蹄山、道の駅ニセコビュー
ラザ

暮らし・地域・未来を守る 気候変動対策事業



ニセコミライ (SDGs街区) ソーラーカーポート



脱炭素社会へ向けた再生可能エネルギー推進

ニセコ町は、2050年までにゼロカーボンを目指し、CO₂の排出を抑制する「緩和」と、すでに起こりつつある気候変動の影響に対処する「適応」を両論とする気候変動対策を推進していきます。

また、脱炭素型の持続可能な地域づくりに資することを目的とする中で、「ニセコ町脱炭素・再エネ推進事業補助金」の普及を促進し、地域の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー事業の実施や町民による主体的な再生可能エネルギーの導入を推進していきます。

プロジェクト

気候変動対策推進事業

ニセコ町脱炭素・再エネ推進事業補助金制度による一般家庭や事業者への太陽光発電設備導入、新築高性能住宅建設への補助 など

事業年度・事業費

令和6年度～



補助金制度



■お問合せ先
ニセコ町企画環境課環境モデル都市推進係
☎ 0136-56-8837
📧 kankyo-e@town.niseko.lg.jp

神恵内村

人口 752人 (2025.6)
主な観光ポイント
竜神温泉、青少年旅行村、窓岩

神恵内村デジタル田園都市国家構想推進事業



神恵内漁港



コミュニティDX事業

地域の魅力やデジタルを活用した総合的な施策

基幹産業が漁業の当村では、「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への転換を目指しており、水産業の活性化と6次産業化により、所得向上を目標に取り組んでいます。また、「神恵内村で子育てして良かった」と思える施策を推進するとともに、ICTの技術を小・中学性の授業や地域コミュニティ、地域医療などに活用し、住みよいまちづくりを目指しています。

プロジェクト

神恵内村デジタル田園都市国家構想推進事業

一次産業の振興／教育・地域コミュニティへのICT活用／子育て・教育支援／移住・定住施策の推進 など

事業年度・事業費

令和7年度～



窓岩と西の河原



■お問合せ先
神恵内村企画振興課
☎ 0135-76-5011
↓ kikaku-1@vill.kamoenai.hokkaido.jp

鹿部町

人口 3,479人 (2025.6)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉、鹿部公園

未来きらきらプラン ～子育て負担0（ゼロ）への挑戦～



鹿部町の子どもたち



地元素材を使った給食の様子

鹿部で子どもを育てる「魅力」を高める

鹿部町では「赤ちゃん誕生に関わる各種費用負担」、「幼児期・小・中学校における教育費の負担ゼロ」、「中学校・高校卒業時における新生活応援給付金」など、お子様の誕生から巣立ちまで、ロングランの行政支援に取り組んでいます。

また、卒業後に鹿部町に居住条件付きの奨学金返還支援制度により、鹿部町へのUターンを促進しています。

プロジェクト

子育て負担ゼロ事業

給食費無償化事業 など

事業年度・事業費

令和7年度

20,148千円



未来きらきらプラン
二次元コード



■お問合せ先
鹿部町企画振興課
☎ 01372-7-5297
↓ kikaku@town.shikabe.Hokkaido.jp

浜頓別町

人口 3,216人 (2025.6)
主な観光ポイント
クッチャロ湖、温泉、砂金公園

安心して子育てできる環境と、 学力・郷土愛の向上を目指します



町の自然の魅力を学ぶ体験プログラム
「浜頓別町ジュニアガイドアカデミー」



クッチャロ湖の素晴らしさを体感
SUP体験学習の様子

出産・子育てしやすい環境の整備

若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる地域社会をつくとともに、学力向上と豊かな郷土愛を育む環境を目指します。

具体的な施策として、妊産婦や子どもの医療費助成、地域の将来を支えるIターン、Uターン、Jターン人材育成のための地学協働、さらにジュニアガイドアカデミーなどを通じた自然環境学習や研究交流を実施しています。

プロジェクト

浜頓別みらいプロジェクト ～かなえる～

保健・医療の充実、児童福祉の充実、学校教育の充実、生涯教育の充実 など

事業年度・事業費

令和7年度

10,000千円



子どもは18歳まで医療費無料
町外での出産にかかる費用を一部助成



■お問合せ先

浜頓別町総務課地方創生推進室

☎ 01634-2-2345

📧 sousei@town.hamatonbetsu.lg.jp

滝上町

人口 2,175人 (2025.6)
主な観光ポイント
芝ざくら滝上公園、錦仙峡遊歩道

子育て世代へ経済的な支援を行い、 子育てしやすいまちづくり



小3を対象としたエアウォーク



庁内キッズスペース

子育てに係る経済的支援への要望が多く寄せられています

本町の合計特殊出生率は継続して低下傾向にあり、社人研の将来人口推計では、今後も減少し続けます。結婚を控えた若年世代や子育て世代が子どもを望み、産み育てたいと将来へ向けて展望を持ち、安心して希望をかなえられる環境づくりを推進します。滝上町では妊娠から出産・子育てまでの相談支援や保育サービス等の支援環境を充実させています。町民アンケートでも子どものライフステージに応じた経済的支援が求められています。

プロジェクト

子育て世帯への経済的支援

子育て支援策の充実による移住定住対策及び出生率の向上に寄与

事業年度・事業費

令和7年度

700千円



図書館児童書コーナー



■お問合せ先

滝上町まちづくり推進課まちづくり推進係

☎ 0158-29-2111 (内線220)

📧 machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp

子育て世代の抱える負担の軽減に 総合的に取り組む事業



完成後の認定子ども園
(外観イメージ)



完成後の認定子ども園
(内部イメージ)

未来の担い手である子どもたちが健やかに生 まれ育つ環境を整えます

就学前の子どもに対し、質の高い幼児教育及び保育を総合的に提供するため、町立保育所と私立幼稚園を一体化した幼保連携型認定子ども園の整備を進めるとともに、同施設内に保護者の就労等による放課後児童の居場所づくりとしての放課後児童クラブと、子育て世代への各種相談・情報提供や未就園児の一時預かりなど包括的に子育て支援を行う地域子育て支援拠点（子育て支援センター）を併設し、保護者・児童・地域社会におけるパートナーシップによる興部町の子ども・子育て支援の拠点化を図ります。

プロジェクト

幼保連携型認定子ども園等複合型 施設整備事業

幼保連携型認定子ども園、放課後児童クラブ、地域子育て拠点の複合型施設の整備事業

事業年度・事業費

令和7年度～8年度

1,523,000千円



保護者や子ども同士の交流、相談の場
「ここいく広場」



■お問合せ先

興部町福祉保健課社会福祉係

☎ 0158-82-4120

📧 okp-fukusi@town.okope.lg.jp

泊村

人口 1,391人 (2025.6)
主な観光ポイント
鯉御殿、弁天島

水産業を活かし、安心して働ける場をつくる事業



カブトホタテ



カブトサーモン

養殖漁業の安定化と後継者の確保に向けて

近年の気候変動等の影響により、するめいかや秋さけ等の漁獲量が大幅に減少するなかで、漁業経営の安定化を図るため、泊村では「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への転換を図ってまいりました。

ホタテガイの養殖漁業等のほか、令和3年度からトラウトサーモンの養殖事業化に向けた実証試験を行っており、生残、成長等の知見を収集し、養殖漁業の更なる発展を図ることで、漁業経営の安定化と後継者の確保・育成に繋がるよう、取り組みを強化していきます。

プロジェクト

水産業を活かし、安心して働ける場をつくる事業

漁業の多角化の推進／地域特産品の開発／漁業就業者支援事業／陸上水産養殖事業

事業年度・事業費

令和3年度～

200,000千円



ブランドロゴ



■お問合せ先
泊村総務企画課
☎ 0135-75-2021
↓ soumu-ki@ad.vill.tomari.hokkaido.jp

鹿部町

人口 3,479人 (2025.6)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉、鹿部公園

サステナ・ブルー・プロジェクト



夏の昆布採取



昆布漁の様子

基幹産業である漁業で「稼ぐ力」を高める

「サステナブル」と「豊かな海」を掛け合わせ、持続可能な漁業を将来世代にわたって続けていけるよう推進する事業で、環境・資源を守り、育て、創る、循環型の取組です。

町内の産業を活性化させ、それらに携わる人達や事業者などの稼ぐ力を高めることにより、収入の向上や雇用の拡大につなげます。

また、担い手の不足が懸念される分野においては、担い手の育成や雇用の安定を促進します。

プロジェクト

鹿部町沿岸漁業振興対策事業

ナマコ資源保護事業／昆布母藻群落造成事業 など

事業年度・事業費

令和7年度

5,750千円



鹿部漁港



■お問合せ先
鹿部町企画振興課
☎ 01372-7-5297
↓ kikaku@town.shikabe.hokkaido.jp

津別町

人口 3,919人 (2025.6)
主な観光ポイント
津別峠、ノノの森、チミケップ湖

森林の循環利用を進めるため、 木質バイオマスエネルギーを活用



津別町の森林



ウッドチップ

未利用材の活用を進め、持続可能な地域循環型 社会を確立します

津別町では森林の循環利用を進める中、未利用材を活用した木質バイオマスエネルギーに注目し、平成19年にバイオマスタウン構想を策定しました。平成21年には、町内外企業による協同組合を設立し、木質ペレット製造施設を稼働。町内各施設にペレットボイラーや熱供給システムを導入しました。令和5年には木質バイオマスセンターを稼働し、未利用材の収集やチップ化等の中間処理を開始しております。未利用材の活用は発展途上であり、今後は新たな福祉施設への熱供給を予定している他、農畜産分野や薪利用など他分野にも広がる可能性があります。この広がりにより持続可能な地域循環型社会を確立します。

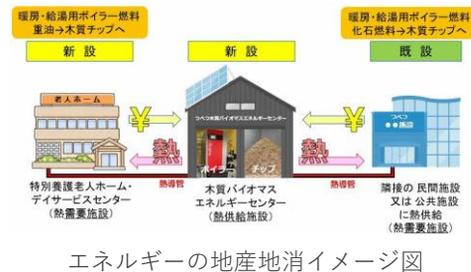
プロジェクト

Ki-Cycleつべつ

木質バイオマスセンター稼働
(未利用材の収集やチップ化等の中間処理／町内各施設にペレットボイラーや熱供給システムを導入)

事業年度・事業費

令和7年度
38,665千円



■お問合せ先
津別町住民企画課ふるさと納税係
☎ 0152-77-8701
↓ furusato@town.tsubetsu.lg.jp

滝上町

人口 2,175人 (2025.6)
主な観光ポイント
芝ざくら滝上公園、錦仙峡遊歩道

森林整備を推進し 環境保全とSDGsに向けたまちづくり



滝上町の90%が森林



木質バイオマスにも取り組む

世界的な共通目標・カーボンニュートラル 1800haの人工林を適切に管理したい

滝上町が所有する森林約3000haのうち人工的に植栽された森林は全体の6割の1800haあります。人口林は環境財及び経済財として適切な伐期に伐採・収穫し、また植えるというサイクルを循環させることが重要となっています。現在、国や北海道の補助金を受けて森林整備を行っておりますが、長伐期施業による経年と共に木材価値は落ち、資源の循環サイクルに支障が出ています。

プロジェクト

伐期をむかえた森林の整備

伐期を迎えても、伐採し更新ができていない森林の整備、資源循環のサイクルの保全

事業年度・事業費

令和7年度
3,000千円



森林を伐採・整備



■お問合せ先
滝上町まちづくり推進課まちづくり推進係
☎ 0158-29-2111 (内線220)
↓ machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp

滝上町

人口 2,175人 (2025.6)
主な観光ポイント
芝ざくら滝上公園、錦仙峡遊歩道

担い手不足に悩む農業の基盤を強化 稼ぐまちづくりを推進



アスパラガス栽培、畑作が盛ん



人より牛の方が多い

まちの基幹産業である農業 畑作・酪農・畜産の担い手不足の解消へ

農業は滝上町の基幹産業として、畑作、酪農、畜産が行われておりますが、近年は高齢化により離農件数が増えています。離農者の増加は地域の農業生産額の減少に直結することから、地域経済や地域の活力への影響が懸念されます。滝上町では新規就農者に対し、積極的に支援を行っていますが、町の単独事業として全額町費で賄っています。近年の雇用情勢にも対応し、支援内容をより充実させていくため、寄付を公募しております。

プロジェクト

農業研修生、新規就農者確保

農業の担い手不足の解消、地域の食糧生産機能の維持・強化、地域活性化

事業年度・事業費

令和7年度

300千円



明治39年から栽培される薄荷



■お問合せ先
滝上町まちづくり推進課まちづくり推進係
☎ 0158-29-2111 (内線220)
✉ machidukuri@town.takinoue.hokkaido.jp

白糠町

人口 6,937人 (2025.6)
主な観光ポイント
道の駅しらぬか恋問館、庶路ダム

稼ぐ地域をつくとともに、 安定した雇用を創出する



新規就農者



鮮度保持水槽施設

活力に満ちた産業づくり、雇用の創出

本町の豊かな地域資源をいかした産業づくりを目指し、第一次産業である農林水産業の更なる振興に向けた取組を進めるとともに、新産業創出に対する支援を行い、地域経済の活性化と雇用の創出を図ります。

プロジェクト

稼ぐ地域をつくとともに、安定した雇用を創出する

新規就農者に対する支援、雇用の創出等に対する支援、起業・環境整備などに対する支援 など

事業年度・事業費

令和7年度

482,567千円



岬の森東山公園からの景色



■お問合せ先
白糠町企画総務部企画財政課
☎ 01547-2-2171
✉ kikakuchosei@town.shiranuka.lg.jp

夕張市

人口 6,001人 (2025.6)
主な観光ポイント
夕張市石炭博物館、幸福の黄色いハンカチ
想い出ひろば

Challenge More Spirit 夕張高生は挑戦し続けます



海外短期留学



公設塾夕張学舎キセキノ

地域唯一の高校存続を目指して、魅力を高める取組を推進しています

夕張市は、生徒数が減少している夕張高校が廃校となった場合のまちの将来への影響の大きさを考え、市内外問わず生徒に選んでもらえる魅力ある学校とするため、財政再生計画の抜本の見直しにおいて「夕張高校魅力化プロジェクト」を夕張市の主要施策として位置付けました。夕張の未来を担う高校生が夕張高校に集い、地域の活力となるようまちが一丸となって育てていくことを目指し、挑戦する生徒を応援する取組を行っています。

プロジェクト

夕張高校魅力化プロジェクトの推進

海外短期留学/公設塾の運営/公設寮の運営/チャレンジ補助(資格取得・部活動支援・入学支援等)/地域みらい留学等

事業年度・事業費

令和7年度

54,776千円



地域みらい留学合同説明会



■お問合せ先
夕張市地域振興課
☎ 0123-52-3141
↓ ybrkai@city.yubari.lg.jp

南富良野町

人口 2,219人 (2025.6)
主な観光ポイント
道の駅、かなやま湖、空知川

唯一無二の高校づくりで、 唯一無二の人材へ！！



南富良野高等学校



かなやま湖(カヌー)

南富良野高校の環境整備を推進し、次代を担う人材育成を推進します

南富良野高校の学習・運動・生活における環境整備を推進します。

学習面ではタブレットを活用した学習環境や電子黒板を使用したスマートな授業などのICT環境整備、運動面では地域特性を活かしたカヌー部やカーリング部などの環境整備、生活面では町外や道外から入学した生徒が安心・安全に暮らせるよう住環境整備を推進します。

また、地域学の一環として、学校設定科目「アウトドア」の時間を設け、地域住民や産業とのつながりを持った学習を実施し、次代を担う人材育成を推進します。

プロジェクト

豊かな学びと生きがいを実感できるまちづくり事業

ICT整備事業/教科書購入・通学等の各種助成事業/教育振興会補助事業 など

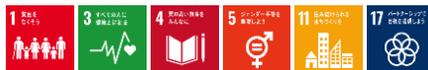
事業年度・事業費

令和7年度

16,000千円



南ちゃん



■お問合せ先
南富良野町企画課企画振興係
☎ 0167-52-2115
↓ kikaku@town.minamifurano.hokkaido.jp

遠軽高等学校部活動応援事業

まちづくりの柱となる教育を守るため、部活動の応援により高校の魅力化を図り生徒確保に向けた取組を実施

遠軽高等学校の 教育水準を維持するために



全国高等学校
ラグビーフットボール大会出場の様子



選抜高等学校野球大会出場の様子

事業年度・事業費

令和7年度

51,000千円



全日本吹奏楽コンクール出場の様子

より良い教育環境の提供に向けて

オホーツク地域は農林水産業で日本の皆様の「食」を守っています。農林水産業者が安心して地域に住み続けるために、医療と教育が整っていることが必要です。遠軽町は地域の中核都市として、「医療」と「教育」を守ることをまちづくりの柱としています。遠軽高等学校の部活動を応援するとともに、1学年5間口（クラス）を維持するため、遠軽高等学校へ通う地域外からの生徒へ通学費等の助成を実施するなどの取組を行っています。



■ お問合せ先
遠軽町総務部企画課
☎ 0158-42-4818
↓ kikaku@engaru.jp

道内市町村で利活用が可能な遊休施設

企業等の皆様が利活用可能な遊休公共施設を紹介しています。

サテライトオフィス設置、工場開設等、今後の道内での事業展開の際には是非ご検討ください。企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。

■ 市町村所有施設

後志 蘭越町(1) 積丹町(2) 古平町(2)

日高 新冠町(1) 様似町(1) 新ひだか町(2)

渡島 八雲町(1)

上川 旭川市(3) 上富良野町(2) 中富良野町(1) 南富良野町(1)

留萌 初山別村(1)

宗谷 稚内市(9)

林-ツク 滝上町(2)

十勝 音更町(2) 士幌町(1) 池田町(1) ※令和7年9月追加分

釧路 厚岸町(2) 標茶町(2)

■ 道所有施設

後志 小樽市(1)

渡島 函館市(1)

留萌 留萌市(1)

十勝 浦幌町(1)

音更町

みなみなかおとふけ

旧南中音更小学校



旧南中音更小学校は平成5年（1993年）に完成し、令和3年（2021年）3月まで使用されました。校舎に展望塔があるため、展望・天体観測などにもご利用いただけます。体育館は公民館として地元開放しているため、利用条件を満たしている場合でも別途協議が必要となります。

土地
賃貸借

建物
賃貸借

■ 概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建
敷地面積	14,811.00㎡
延床面積	校舎：1,210.64㎡ 体育館：699.92㎡
建築年	1993年
廃止年	2021年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 河東郡音更町字南中音更北4線8番地

自動車の場合
とち帯広空港から約1時間10分（約50km）
※一般道のみ利用
札幌市（中心部）から約3時間（約190km）
※高速道路利用

■お問合せ先
音更町企画財政部まちづくり推進課まちづくり推進係
☎ 0155-42-2111
↓ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp



旧豊田小学校は平成3年（1991年）に校舎が、平成4年（1992年）に体育館が完成し、平成26年（2014年）3月まで使用されました。

体育館は公民館として地元に開放しているため、利用条件を満たしている場合でも別途協議が必要となります。

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	23,003.00㎡
延床面積	校舎：1,356.11㎡ 体育館：699.82㎡
建築年	校舎：1991年 体育館：1992年
廃止年	2014年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。

所 河東郡音更町字豊田東4線27番地

自動車の場合
とち帯広空港から約1時間10分（約50km）
※一般道のみ利用
札幌市（中心部）から約3時間（約190km）
※高速道路利用

■お問合せ先
音更町企画財政部まちづくり推進課まちづくり推進係
☎ 0155-42-2111
↓ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp



エールを北のチカラに。

ほっかいどう

応援団会議

企業の皆様と共に取り組むプロジェクト（令和7年(2025年)9月）

発行 北海道
編集 北海道総合政策部官民連携推進局
住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話 011-204-5158